

## 第 18 回 腎病理夏の学校プログラム

### 講義スケジュール

			初級コース	中級コース
8 月 26 日	12:00	13:00	受講生受付開始	
	13:00	13:05	開校のことば・説明	開校のことば・説明
	13:05	14:05	腎生検標本の取り扱い	ネフローゼ症候群の鑑別診断
	14:05	14:15		休憩
	14:15	15:15	光顕標本の評価と鑑別診断	MPGN 型糸球体傷害の鑑別診断
	15:15	15:35		休憩
	15:35	16:35	免疫蛍光・免疫組織化学標本の評価と鑑別診断	尿細管間質病変の病理診断
	16:35	16:45		休憩
	16:45	17:45	電顕標本の評価と鑑別診断	移植腎病理入門
8 月 27 日	9:00	12:00	実習・初級クラス(典型 6 症例)	実習・中級クラス(非典型 6 症例)
	12:00	12:05		閉校式

### 概要

第 18 回腎病理夏の学校では、講義および実習を初級・中級コースにわけてプログラムを作成します。講義は会場とオンラインのハイブリッド形式としますが、受講者はオンデマンドですべての講義を聴取できます。実習は初級コース用の典型例、中級コース用の非典型例、各 6 例を準備する予定で、コース別に適宜 10 人程度のグループ分けをし、チューターが、症例を選択して、一例 30 分ほどかけて解説を行います。

### 講義

質問時間をとるため、1 コマ 1 時間という余裕をもったプログラムとしました。

初級コースでは、これから腎病理を学びたい、病理標本を見始めたばかりの医師を対象に、腎病理の初歩を学びます。

中級コースは、ある程度腎生検診断を行った医師を対象に、より実践的な鑑別のテクニックについて学びます。

「ネフローゼ症候群の鑑別診断」、「MPGN 型糸球体傷害の鑑別診断」「尿細管間質病変の病理診断」「移植腎病理入門」の4プログラムを準備しました。

## 実習

バーチャルスライドを用いて、チューター1人あたり10人の受講生での解説を予定しています（予算等に変更になる可能性があります）。

初級コースでは、疾患の診断よりも、各病変の評価の仕方を中心に解説します。IgA腎症、膜性腎症、Lupus腎炎、糖尿病性糸球体硬化症、MPGN型糸球体傷害、Amyloidosisなどを考えています。

中級コースでは、実際の病理診断の流れに沿って、解説をします。ネフローゼ症候群、MPGN型糸球体傷害・糸球体沈着症、尿細管間質疾患、移植腎から各1-2例を用意します。